

ログ収集マニュアル

本書は、xSync Classroom ログ収集ツールを使用し、ログを収集する手順の説明書です。

iOS 版ではアプリから収集する方法を説明します。

ログ収集マニュアル

PVCXC-M108-C

本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

目次

概要	2
ログ収集ツールの起動方法	2
ログ収集の方法（Windows）	2
参考（取得するログについて）	3
ログ収集の方法（iOS）	4

概要

ログ収集ツールは、xSync Classroom のご利用時に発生した不具合の原因解析用として、端末情報、設定情報、アプリケーション動作ログなどを一括取得します。

なお、ログファイルの取得には 5 分程度かかります。

取得したログファイルはお問い合わせの際、不具合症状と合わせて、ご提示ください。

ログ収集ツールの起動方法

Windows をご利用の場合は、xSync Classroom がパソコンにインストールされている場合、スタートメニューから以下の手順でログ収集ツールを起動します。

スタートメニュー → xSync Classroom → サポート → ログ収集

なお、Windows 用のログ収集ツールは、以下の Web サイトにて最新版を提供しています。

https://jp.vcube.com/support/xsync/supplier-download#classroom_top

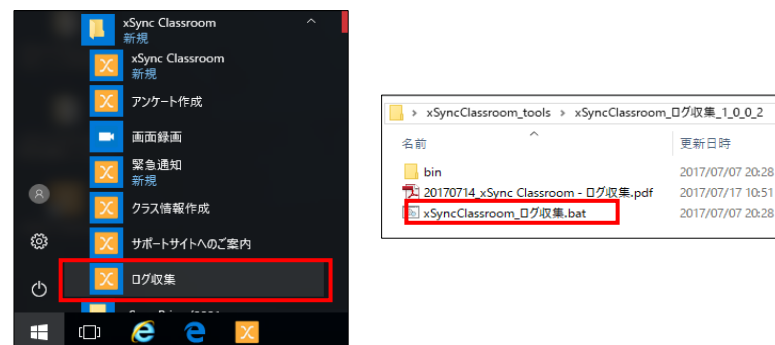
iOS をご利用の場合は、xSync Classroom アプリからログ収集をおこないます。

TOP 画面 → バージョン画面 → ログ収集

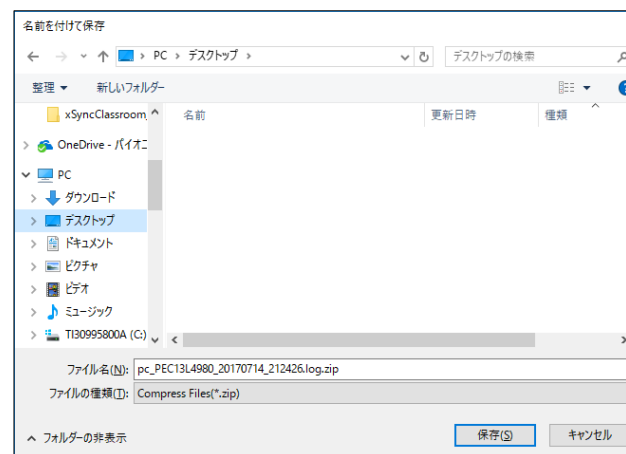
詳しくは P4「ログ収集の方法 (iOS)」を参照ください。

ログ収集の方法 (Windows)

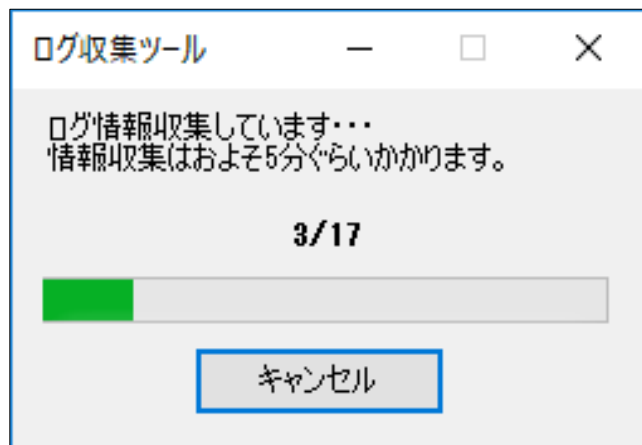
1. スタートメニューから、ログ収集ツールを起動します。
または、Web サイトからダウンロードした書庫ファイルを展開し、xSyncClassroom_ログ収集.bat を実行します。



2. ログファイルの保存場所を指定し、[保存] をタップします。



ログ収集が始まります。所要時間は約 5 分です。



ログ収集が完了すると、指定した保存場所に以下の zip ファイルが生成されます。

pc_ (PC 名) _yyyymmdd_hhmmss.log.zip

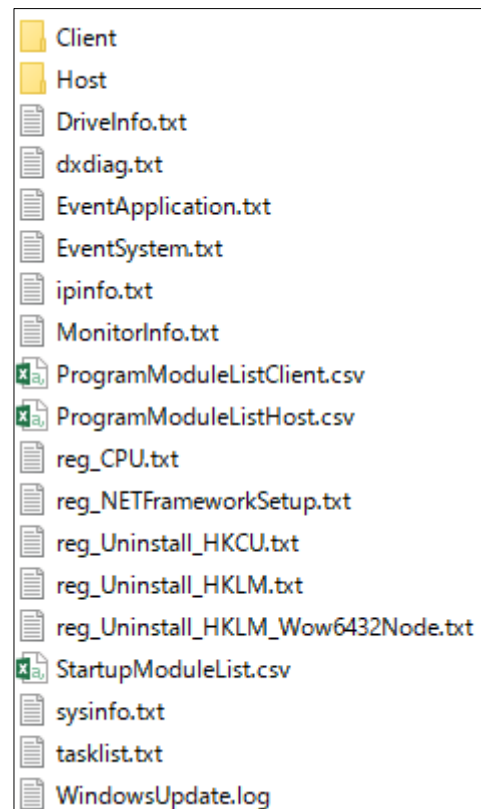


- zip ファイル名の yyyymmdd_hhmmss には、ログファイルを保存した年月日時分秒が、自動で記録されます。

以上でログ収集の作業は完了です。生成された zip ファイルを不具合症状と合わせてご提示ください。

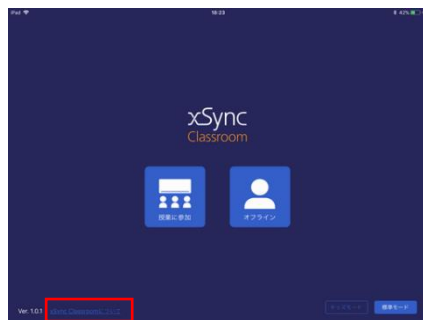
参考（取得するログについて）

生成された zip ファイルの中は、以下のとおりです。

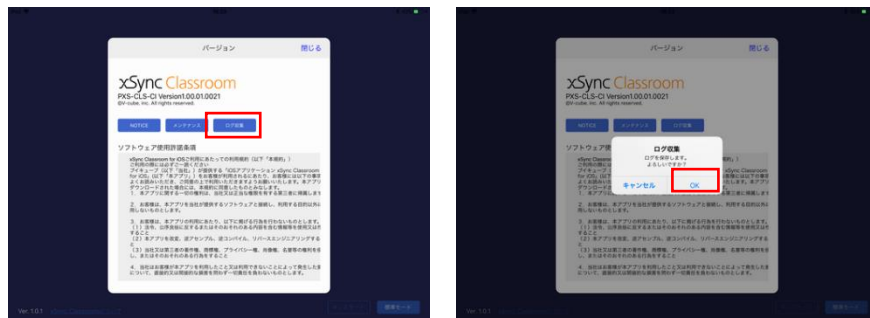


ログ収集の方法 (iOS)

1. [xSync Classroom について]をタップし、バージョン画面を表示します。



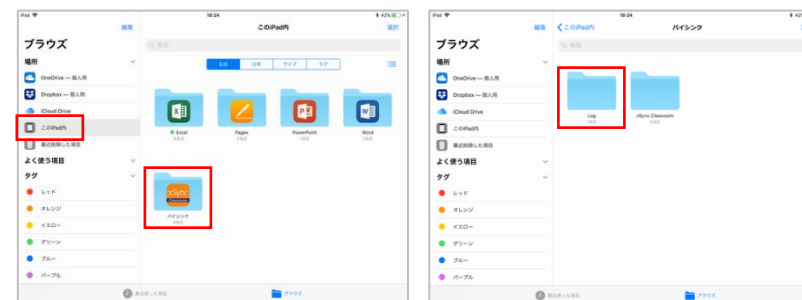
2. バージョン画面から [ログ収集] > [OK] をタップします。



3. ログは iOS の ファイル アプリから参照します。
アイコンをタップし、ファイルアプリを起動します。



4. [この iPad 内] > [バイシンク] > [Log] にログファイルが保存されます。

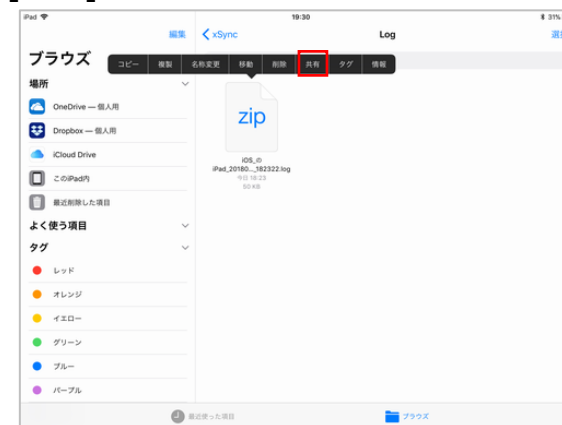


※端末名_yyyymmdd_hhmmss.log というファイル名の zip ファイルが保存されます。

補足

- zip ファイル名の yyyymmdd_hhmmss には、ログファイルを保存した年月日時分秒が、自動で記録されます。

5. ファイルをロングタップして Menu を表示します。
[共有]から、メール等で回収してください。



※Log フォルダは iTunes の[ファイル共有]からも参照や保存ができます。